

# 製造間接費 第2問 問題

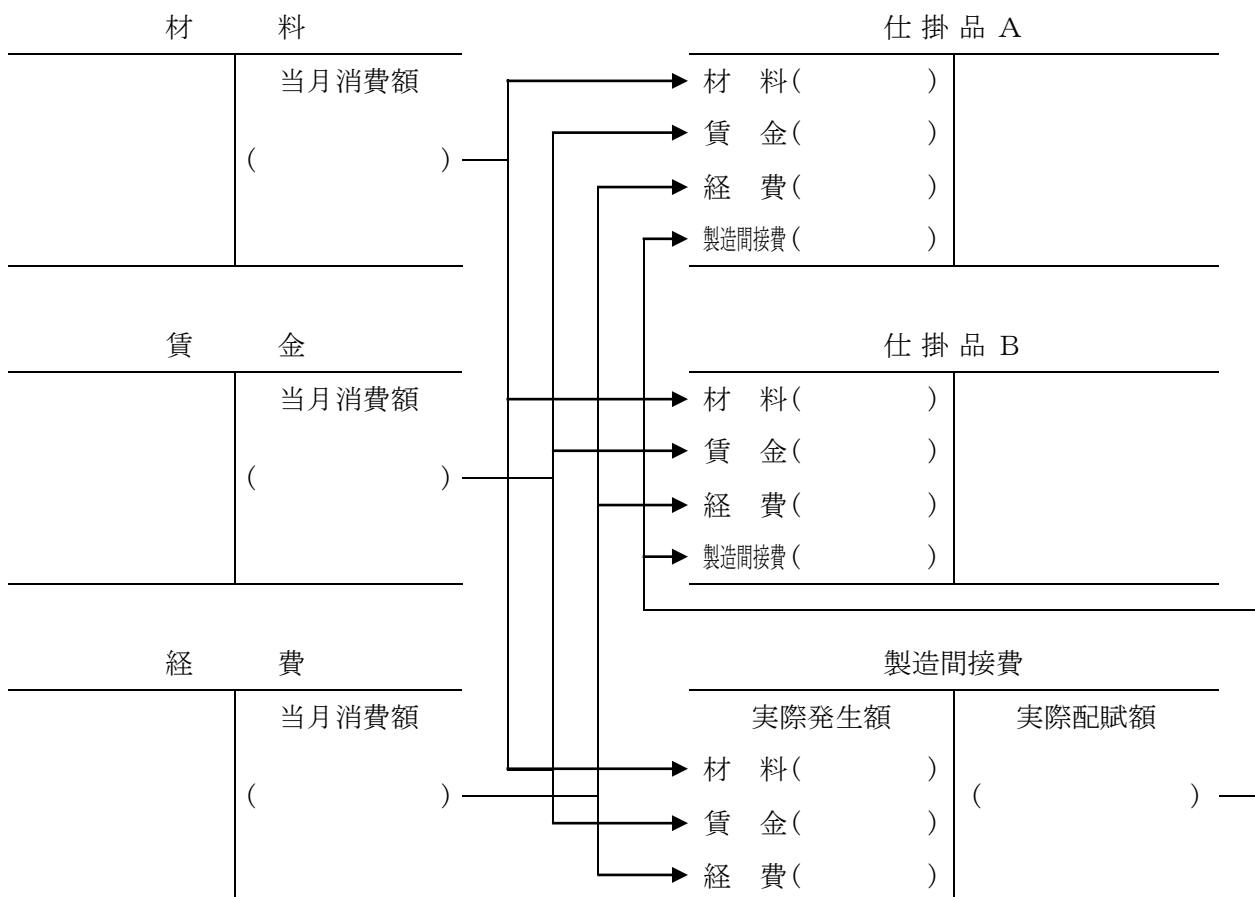
当工場は、製造間接費の配賦を**実際配賦**で行っている。次の資料にもとづいて、各勘定の（ ）中に適切な金額（単位：円）を記入し、勘定連絡図を完成させなさい。

(資料)

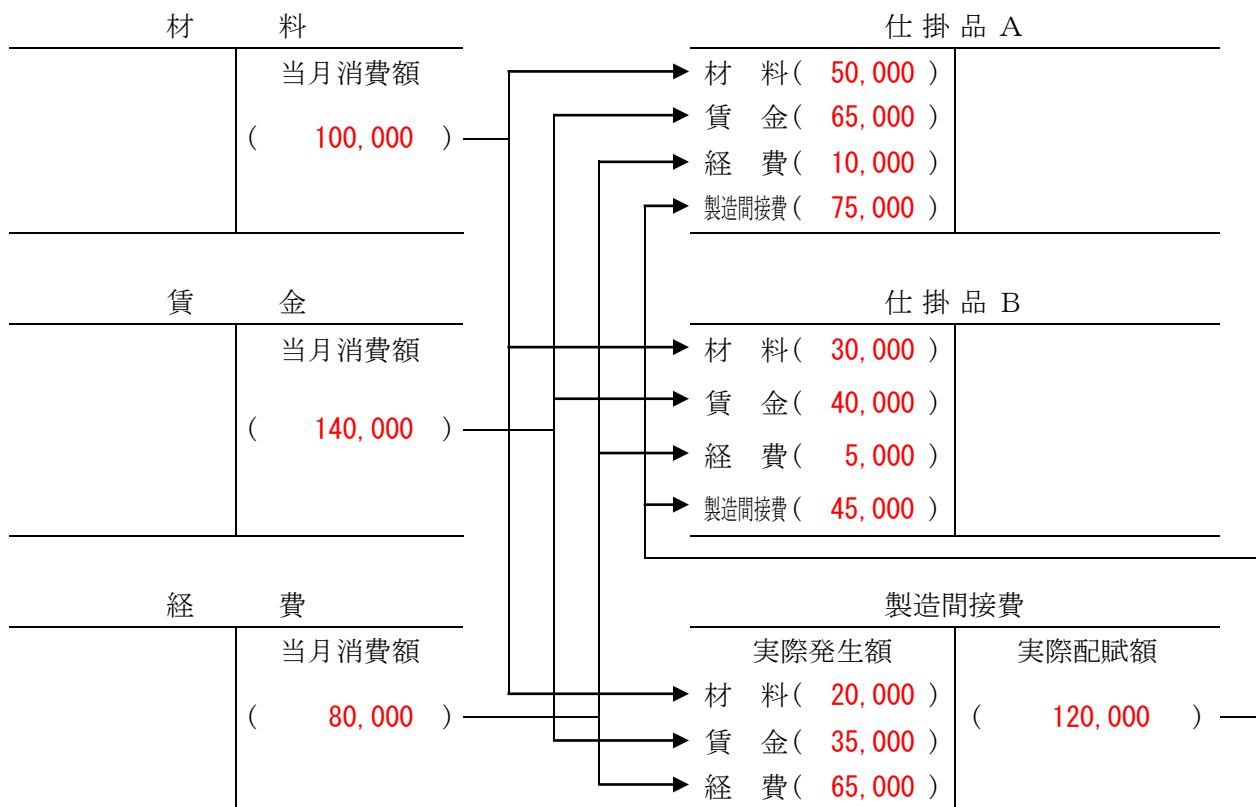
(1) 当月における材料、賃金、経費の消費高を、次の資料によって、仕掛品勘定と製造間接費勘定に計上した。

	仕掛品Aへの消費高	仕掛品Bへの消費高	仕掛品へ直課できない消費高
材 料	50,000 円	30,000 円	20,000 円
賃 金	65,000 円	40,000 円	35,000 円
経 費	10,000 円	5,000 円	65,000 円

(2) 当月の製造間接費実際発生額を、直接材料費を配賦基準として、各仕掛品に**実際配賦**した。



## 製造間接費 第2問 模範解答



### 【解説】

- (1) 「仕掛品Aへの消費高」と「仕掛品Bへの消費高」は、特定の製品を製造するためにいくら消費したかが明らかな直接費なので、仕掛品勘定へ直課する。また、「仕掛品へ直課できない消費高」は、特定の製品を製造するためにいくら消費したかが明らかになっていない間接費なので、製造間接費勘定の借方へ集計する。

これを仕訳すると次のようになる。

仕 掛 品 A	125,000	材 料	100,000
仕 掛 品 B	75,000	賃 金	140,000
製造間接費	120,000	経 費	80,000

- (2) 製造間接費勘定の借方合計 120,000 円が当月の製造間接費実際発生額である。これを直接材料費の 50,000 円と 30,000 円の割合で、仕掛品Aと仕掛品Bに配賦する。

$$\text{仕掛品 A} \quad ; \quad \frac{120,000 \text{円}}{50,000 \text{円} + 30,000 \text{円}} \times 50,000 \text{円} = 75,000 \text{円}$$

$$\text{仕掛品 B} \quad ; \quad \frac{120,000 \text{円}}{50,000 \text{円} + 30,000 \text{円}} \times 30,000 \text{円} = 45,000 \text{円}$$

これを仕訳すると次のようになる。

仕 掛 品 A	75,000	製造間接費	120,000
仕 掛 品 B	45,000		